

Q どんなことをするの？

行財政改革

基本構想実現に向けた行政運営

人口減少社会が到来し、高齢化が進む中、複雑化・多様化する市民ニーズに的確に応えるとともに、地域主権の時代にも対応できる行政の体制を整えることが求められています。

このため、これまでの行政主導の市政から、開かれた市民総参加・協働型の市政へ転換する必要があります。

また、日々進歩する情報化社会への速やかな対応や地域主権の時代を見据えた行財政システムの構築などにも取り組まなければなりません。

本構想に掲げる五つの基本目標を実現するため、次の事項を積極的に推進していきます。

基本施策 34 市民総参加・協働型の市政の推進

- 施策① 市民力・地域力の向上
- 施策② 広報の充実
- 施策③ 市民が利用しやすい市役所の実現
- 施策④ 情報公開制度などの充実

基本施策 35 情報化社会に対応した市政の推進

- 施策① 市民と行政の情報の共有化
- 施策② 大野市外に向けた魅力ある情報の発信
- 施策③ 高度情報化の充実

基本施策 36 健全な行財政の推進

- 施策① 継続的な行政改革の推進
- 施策② 職員力・組織力の強化
- 施策③ 健全で柔軟な財政運営

成果指標一覧

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標	単位
市ホームページアクセス件数	市ホームページにアクセスした延べ件数	320,000 (19~21年度の平均)	370,000	件
新しい市庁舎の建設	新庁舎の供用開始	構想策定	新庁舎供用開始	
パブリックコメント案件1件当たりの意見数	パブリックコメント制度を実施した案件1件当たりの提出された意見の数	3 (21年度)	10	件
施設予約システムでの利用可能施設数	「ふくe-ねっと」を利用して予約できる施設数	2	10	施設
電子申請システムでの利用可能手続数	「ふくe-ねっと」を利用して申請できる手続数	24	40	件

